

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO 緑の会
取手市
小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791



恒川理事長

新年明けましておめでとう
ございます。

皆さまにおかれましては、明
るい希望に満ちた新春をお
迎えることと心よりお慶び
申し上げます。

昨年は、嬉しいニュースが続
きました。五月一日皇太子徳
仁親王殿下が第一二六代天
皇に即位され、元号が「令和」
に改まりました。八月にはラ
グビーワールドカップ日本
大会にて、世界の強豪達を相
手に初の 8 強入りを果たす
快挙を成し遂げ、日本中が湧
きました。十月には、今年の
ノーベル化学賞にリチウム
イオン電池を開発した吉野
彰氏が選ばれ、日本人として
とても嬉しく思いました。
しかしこれまでにない規模
の台風被害が相次ぎ、15号、

19号、21号に伴って記録的な
大雨により、各地で河川氾濫が
発生し、その規模の大きさに声
もありませんでした。
年々自然災害の規模が大きく
広範囲になってゆくことに、私
達の一滴の活動でも、心を込め
て取り組みたいと思っていま
す。

さて、私達の中心的事業であ
ります「生ごみ堆肥化事業」は
平成13年に取手市より受託以
来17年が経過しました。人力
はシルバーさん6人、ボカシの
製造は「つつじ園」の皆さんと
私達「NPO 緑の会」との協働で
順調に進んでいます。

「水質浄化事業」は認定NPO法
人地球環境共生ネットワーク
からご依頼の日本橋川浄化事
業、石岡市から受託の「東の辻
池生活排水浄化事業」をはじめ
霞ヶ浦をきれいにする会への
協力、取手市相野谷川の浄化活
動の継続などを昨年に引き続
き進めてまいります。

このほか、EMファンへのEM
製品の販売やヤーコン茶等の
販売にも引き続き頑張ってい
ります。



整流ブロックや結界ポトルな
ど、目の前に広がるEMの力、
効果には年ごとに驚かされる
ばかりです。

更に微生物が放射能を減少さ
せるという科学的根拠は20
18年国際環境放射能学会誌
192巻に掲載されました。
そして2019年国際常温核

融合学会誌29巻にEMが放射
性セシウムを消滅したという
研究結果が認められました。(
ウエブエコピュア新夢に生き
る144回参照)。

難しい理論のお話は、専門の
先生方をお願いして、私たちは
足元の出来るところから少し
ずつ環境と人にやさしい活動
を、楽しく進めて参りたいと考
えております。

EMにご縁があった不思議さ
に深い感謝の思いで、一日一日
を丁寧にそして楽しく送りたい
と思っております。本年も変わ
らない皆様のご指導、ご協力を
宜しくお願い申し上げますと
共に、皆様のご健勝とご多幸を
心よりお祈り申し上げます。

理事長 恒川 敏江

令和元年 水質浄化事業 相野谷川(取手市)、砂沼(下妻市)、東の辻(石岡市)

7月20日(土) 相野谷川にEM団子投入

梅雨の合間の曇り空の中、45名もの方々が参加。無事にEM団子と活性液の投入を終えました。今回は映画「蘇生II」の白鳥哲監督が参加されました。また藤井信吾取手市長の飛び入り参加もありました。投入後、藤棚の下で白鳥監督の講話を拝聴しました。地球を救うために何をすべきか・・・監督の熱い語り心が心に沁みました。



8 月 6 日(火)、9 月 23 日(日)砂沼に整流ブロックと EM 団子を投入(蘇生砂沼の会)



8/6 蘇生砂沼の会の皆さまと



10キロの整流ブロック



蘇生砂沼の会が中心となつて、周囲6キロの砂沼に 8/6、10キロの整流ブロックを 21 個投入。その後結果確認を含め、9/23 に追加で EM 団子を中心に投入しました。アオコも臭いもなくなっており、EM の威力を実感しています。

9 月 1 日(日)、10 月 6 日(日)東の辻浄化作業(石岡市東の辻池水源美化クラブと霞ヶ浦をきれいにする会)

不法投棄で放置されジャングル化の進む、悪臭漂う湿地帯を、2002 年から EM による浄化活動を継続し、今では魚も住む“東の辻水源”として復活。現在では水辺周辺に桜が咲く自慢の「親水公園」となっています。佐藤信夫氏によると、石岡緑の会の鈴木せつ子さん達と協力して EM 活性液を散布。当時は効果に疑問を持っていたが散布後一週間から一か月で悪臭が見事に消え失せ、その効果に感動を覚えた。それから 17 年後の今も継続しており NPO 緑の会は、前身の EM 緑の会当時から協力しており、石岡市もその成果を認め助成金を出すまでになっています。そして池の水は霞ヶ浦に流れ込み霞ヶ浦浄化の一翼も担っています。



8 月 4 日～9 月 12 日 整流ブロック使用例



8 月 4 日



8 月 11 日



8 月 15 日



9 月 12 日

整流ブロック中型 (3 号ポット : 約 500g) 1 個を、メダカ的水槽 (甕) に投入しました。その後、経過観察をしていただいた写真をご紹介します。

水槽 (甕) の大きさは直径 45 cm×深さ 30 cmほど。水は濁っており、整流ブロックはほとんど見えない状況でした。8 月 4 日に投入。8 日後には、水もきれいになりつつあるも、水草が汚れてきましたが、8 月 15 日には 2 週間足らずで甕の底が見えるまで水もきれいになり、水草の汚れもなくなり、整流ブロックもくっきりと見える状態になりました。そして、約 1 か月後の 9 月 12 日に撮影した写真が左です。

令和元年 生ごみリサイクル事業 (25 年の歴史を持つ緑の会の基幹事業です)



朝の唱和後、体操をして安全を確認し回収に向かう。回収は 1 トントラック 3 台、作業員各 2 人で 6 人。週 2 回収。堆肥場に搬入し、生ごみ粉碎、EM 活性液を噴霧し、ボカシ入り戻し堆肥を混ぜワイヤーパレットに詰め、積み上げて静置する。
あとは EM さんにお任せで自然発酵させ完成。



主な参加イベント

7月28日 取手市協働サミットにパネリストとして参加

11月10日 福島県相馬市へEM団子12,000個を届ける



8月12日 取手市体験マッチングプログラムで高校2年生の女性が堆肥場でEM団子と整流ブロック作りを体験



10月20日 つつじ園まつり (つつじ園にはEMぼかし製作をお願いしています)



11月16日 ネットワークフェア(藤代)

11月30日 常総環境センターふれあい Day



11 月 30 日 第 116 回 改善循環の輪 in 東京 (暮らしと環境を変える発酵のチカラ！)

NPO 緑の会からは、発表者として恒川理事長ご夫妻が「生ごみ堆肥化事業 25 年の歩み」を講演。スタッフとしては 5 名の会員が参加しました。懇親会では比嘉照夫教授と一緒に写真撮影をしました



堆肥場における通常作業の風景

6 月 24 日 (月) 谷和原西土地改良区の皆さまが EM 団子作りに参加



台風 15 号 (9/8) と 19 号 (10/12) で被害が出るも整流ブロックや EM 団子作りは続行しました



10 月 28 日 (月) 蘇生砂沼の会から 13 名が来訪。整流炭作りの実践と整流ブロックの製作を経験しました



編集後記
NPO 緑の会に参加し、一年三ヶ月が経ちました。この間、会報で報告していますように様々なイベントや作業を経験しました。比嘉照夫先生が「EM は進化しており、三年前とは全く違う」と言われるように、最新技術を駆使した製品や材料作りにも携わってきました。地球にとってもは大海の一滴ですが、皆さまのご指導の下これからも頑張ります。岸本義幸



NPO 緑の会の会員になるには
正会員：会費 3,000 円/年 活動もできる方 (総会での議決権有)
賛助会員：会費一口 3,000 円以上 会費で協力 (総会での議決権はなし)
お問い合わせ先：TEL：0297-72-8791
Eメール：npo-mido@trust.ocn.ne.jp